

福井市文化財保存活用地域計画（素案）に係るパブリック・コメントの実施について
（教育委員会事務局文化財保護課）

1 策定の趣旨

本市では、豊かな自然の中で生まれた多種多様な文化財が、市内の各地区で大切に受け継がれているが、少子高齢化や過疎化により維持管理や継承等の問題が生じている。

そのため、市民、民間団体、行政などが連携・協力し、文化財の保存・活用に取組み、継承することを目的に、福井市文化財保存活用地域計画を策定する。

2 根拠法令

文化財保護法（文化財保存活用地域計画の策定）

第百八十三条の三 市町村の教育委員会（地方文化財保護審議会を置くものに限る。）は、文部科学省令で定めるところにより、単独で又は共同して、文化財保存活用大綱が定められているときは当該文化財保存活用大綱を勘案して、当該市町村の区域における文化財の保存及び活用に関する総合的な計画（以下この節及び第百九十二条の六第一項において「文化財保存活用地域計画」という。）を作成し、文化庁長官の認定を申請することができる。

3 計画期間 令和8年度から13年度まで

4 策定にかかる協議

本計画を策定するため、『福井市文化財保存活用地域計画策定協議会』を設置し、令和5年度に2回、6年度に2回の協議会を開催し、協議を行った。

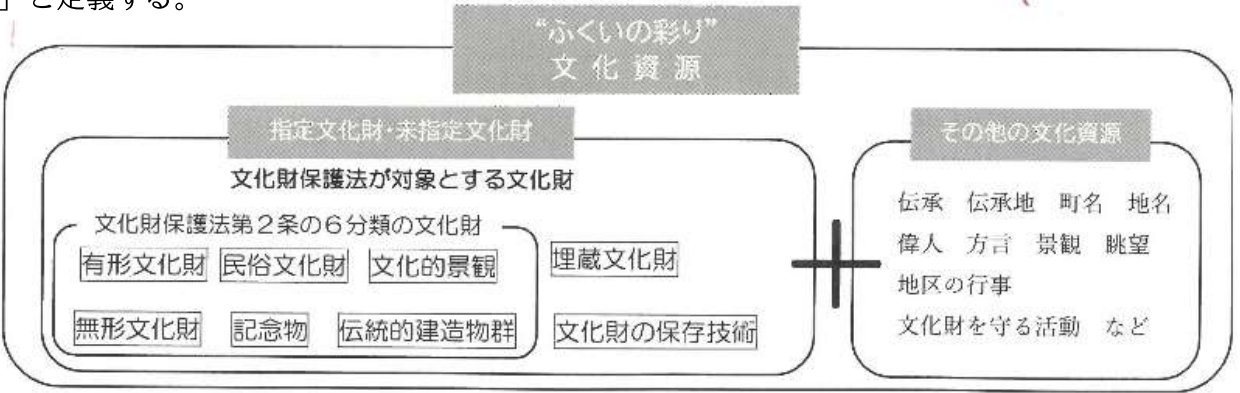
また、福井市文化財保護条例（第11条）による諮問機関である文化財保護委員会の意見を聴取し、素案を作成した。

5 本計画の対象とする文化財と用語の定義

文化財は国や地域の歴史文化特有のものなかで、重要性や地域性に応じて、国や県及び市町村が後世に残すべき価値があると認められたものを指定文化財としている。

一方、指定等を受けた文化財に限らず、地域の人々の暮らしに深く結びつき、大切に守られてきたものや、暮らし、自然などに関わるものが数多くある。これらのものを未指定文化財と呼び、本計画の対象とする。さらに、指定・未指定に関わらず、地元に残る伝承・伝承地、町名・地名、福井の発展に貢献した人物、眺望、方言など（6分類の文化財に該当しないもの）の歴史・文化・自然的要素を含めた、その他の文化資源も対象とする。

本計画では、指定文化財、未指定文化財及びその他の文化資源を総称して、“ふくい”の彩り”「文化資源」と定義する。



6 歴史文化の特性

福井の持つ歴史、文化、自然を、4色の光の色で表現し、それらの色の持つイメージから、福井の特性と10項目のテーマを関連文化財群として取り上げている。

関連文化財群とは、地域の歴史や文化を表した特徴的なテーマに沿った文化資源をまとめたものである。関連文化財群を設定することで、地域の歴史や文化および文化資源の価値がわかりやすく市民に伝えられるとともに、様々な立場の人や団体等が連携して、文化資源を守り、次世代に引き継ぎ、まちづくりの一つとして活用する環境をつくることを目的にしている。

光のイメージ	光	特 性	関連文化財群
不屈、情熱、強さ	赤色	1 福井の不屈の気概	1 近代化と復興 不屈の気概
			2 真宗王国ふくい 福井文化の基礎
			3 戦国大名朝倉氏 朝倉氏の台頭と領国支配
神秘、信頼、雄大	青色	2 福井の神秘と信頼	4 笏谷石 石文化の広がり
			5 福井城 越前松平家の治世
			6 越前海岸 海を通じた交流と自然
自然、壮大	緑色	3 福井の山文化	7 文殊山 いにしえからの信仰の山
			8 継体天皇 山に残る王族の足跡
			9 美しい山 豊かな山村の歴史文化
純粋、無垢	白色	4 心に宿る福井の風景	10 福井眺望 先人と心を結ぶ風景

7 目標と方向性

本計画が目指す基本理念は、次のとおりである。また、基本理念の実現のために、先人の思いや精神を表す文化資源の特性を「知り・伝える」、市民とともにその価値を「守り・繋ぐ」、様々な主体が「関わり・広げる」の3つの視点を持って基本方針を設定した。

【基本理念】

文化や歴史、自然を、郷土の誇りとして未来につなぎ、ふくいの新たな魅力を創出する

【基本方針】

1 文化資源を「知り、伝える」

文化資源の調査・研究を進め、その価値を伝える取組を行う。

2 文化資源を「守り、繋ぐ」

文化資源の適切な保存と維持管理に努め、大事に守る取組を行う。

3 市民が取り組むまちづくりに「関わり、広げる」

文化資源の活用・普及に取り組む市民や関係団体と協力体制を作る。また学校教育・生涯教育と連携して文化資源の担い手を育成する。

8 文化資源の保存・活用に関する事業

実現するための3つの基本方針ごとに実施する事業を位置づけ、取組を進める。

基本方針1 文化資源を「知り、伝える」

本市に残る文化資源の価値や魅力などを様々な視点から評価、再発見する必要がある。そのため、継続的に調査を進め、将来に伝えていく。

○事業1-1 文化資源の調査・研究の推進 文化資源の把握の推進を図るため、旧3町村の文化資源の把握調査、足羽山の自然環境調査を実施する。

○事業1-2 文化資源の適切な評価・位置づけ 文化資源の指定等を推進するため、詳細調査を実施し、福井市文化財保護委員会に諮る。

○事業1-3 文化資源の記録・保存の推進 無形民俗文化財・古文書・考古資料等のデジタルアーカイブの推進を図り、HP等で公開する。

○事業1-4 文化資源の普及推進 わかりやすい文化資源情報の発信をSNSや冊子等で行う。

基本方針2 文化資源を「守り、繋ぐ」

文化財を所有・管理している多様な主体者と連携することで、保存や管理、公開などの情報の共有化を進め、経費の縮減、メンテナンス体制の共同化など、よりよい保存環境を整えていく。

○事業2-1 指定文化財の保存・管理の推進 指定文化財の修理・修復の推進を図るため、保存状態調査、修復等の補助制度の充実などを行う。

○事業2-2 指定文化財の適切な管理の推進 指定文化財の環境整備を推進するため、史跡整備に係る計画等の策定、収蔵施設の整備検討などを行う。

○事業2-3 指定等文化財の防災・防犯 災害・盗難から文化資源を守るため、防災・防犯対策を支援する。

基本方針3 市民が取り組むまちづくりに「関わり、広げる」

多様な関係者が参画した地域社会が総がかりで、次世代への文化資源の継承を行うため、担い手育成、教育等の取組み促進や体制整備を進めることで、文化資源を活かしたまちづくりを行う。

○事業3-1 地域活性化の推進 関係部局と連携して、「日本遺産」、「一乗谷朝倉氏遺跡」、「養浩館庭園」、「越前海岸の水仙畑」の保存・活用を図る。

○事業3-2 観光との連携 文化資源をめぐる交通の強化を図る。

○事業3-3 文化自然に関わる人材の育成 無形民俗文化財を担う人材の育成など取組を支援する。

○事業3-4 文化資源の環境活動支援 歴史・文化や環境保全活動を行うボランティアの支援を行う。

○事業3-5 文化資源を学ぶ機会の創出 博物館等施設で特別展・企画展や各種講座を開催し、ふるさとの文化資源に触れる機会を提供する。

○事業3-6 学校教育との連携 ふるさとの文化資源を学ぶ授業のサポートを行うため、学校への出前授業や社会科副読本の作成に協力する。

9 関連文化財群の保存・活用に関する事業

地域の歴史や文化を表した特徴的な10項目のテーマに沿った文化資源をまとめた関連文化財群ごとに実施する事業を位置づけ、保存・活用を図る。

福井を照らす赤 福井の不屈の気概

1 近代化と復興 不屈の気概 【主な対象範囲】中心市街地
福井空襲、福井地震などの被災と復興を語る文化資源が、再開発で徐々に減少している。被災前の建造物などの調査や解説版の設置および周知活動に取組む地域住民・団体等への支援を継続的に行う。

2 真宗王国ふくい 福井文化の基礎 【主な対象範囲】市内一円
集落単位で大事にされている信仰は、高齢化や生活の簡素化により担い手の不足や関連した行事および料理などの継承が難しくなっている。この文化を守り、伝えるため、行事等の調査、記録を行い、保存する。

3 戦国大名朝倉氏 朝倉氏の台頭と領国支配 【主な対象範囲】市内一円
朝倉氏に係る文化資源は、一乗地区以外にも、遺跡や伝承地として市内に多く点在する。これらの文化資源の詳細調査を行うことで、各地区にある朝倉氏の足跡を市全域に広げる取組を進める。

福井を照らす青 福井の神秘と信頼

4 笏谷石 石文化の広がり 【主な対象範囲】足羽山周辺、市内一円
笏谷石の採掘技術や道具等は失われつつあります。行政と市民団体が連携して、笏谷石に関する情報を関係者等から聞き取り調査を行う。また、屋外で風化の進む石塔・石仏などの劣化対策の調査を進める。

5 福井城 越前松平家の治世 【主な対象範囲】中心市街地
藩で活躍した人物の生家跡や顕彰碑などが市街地や足羽山に多数存在していることは知られていない。福井城下の歴史や人物を市民観光客に伝える活動を行う市民団体の人材育成および運営支援を行う。

6 越前海岸 海を通じた交流と自然 【主な対象範囲】鷹巣・国見・越廼地区など
水仙畑をはじめとした生業や伝統文化の担い手不足が深刻化し、文化資源の継承が困難となっている。また、学術調査が行われていない生業関係資料や伝統芸能の神楽などの調査を行う。

福井を照らす緑 福井の山文化

7 文殊山 いにしえからの信仰の山 【主な対象範囲】麻生津・文殊・上文殊地区など
泰澄大師に関連する寺院や史跡などの文化資源の保存・管理は、高齢化や人口減少等により、難しくなっている。観光や文化財などの部局が連携して、活用と情報発信による価値の周知を行い、担い手の参加を促す。

8 継体天皇 山に残る王族の足跡 【主な対象範囲】市内一円
継体天皇の市民の認知度は高くないため、伝承・神社・ゆかりの地など文化資源の調査を行い、その成果を公開して認知度を高める。免鳥長山古墳の適切な保存と活用を図る。

9 美しい山 豊かな山村の歴史文化 【主な対象範囲】美山地区
美山地区は、人口減少と少子高齢化が進み、文化資源の保存・継承が難しい状態にあるため、保存を図る学術的な調査を進めるとともに、担い手育成や新たな担い手の確保を支援する。

福井を照らす白 心に宿る福井の風景

10 福井眺望 先人と心を結ぶ風景 【主な対象範囲】市内一円
福井の慣習・風俗・伝統は、社会・家庭環境の変化によって失われつつある。そのため、その価値や意味を市民に広く普及を図る。

10 パブリック・コメントスケジュール

パブリック・コメントの実施	令和7年6月30日（月）～7月25日（金）
パブリック・コメントの意見集約、結果公表	令和7年8月下旬
計画策定	令和7年12月
計画に基づく施策の実施	令和8年4月1日～